

【外来種検討会資料】

ニホンザル関連の説明

川本 芳（京都大学霊長類研究所）

1 国内の交雑事例

和歌山（タイワンザル）

1998 交雑確認（遺伝子分析）

2003.3.-2004.8. 約 250 個体を除去

2004.9. 50 個体以上が残存

下北（タイワンザル）

2003.11.-2004.1. 68 個体を除去、当該地から消滅

捕獲除去後の分析で交雑個体を確認（遺伝子分析）

房総（アカゲザル）

1995 野生化移入種群（白浜群）を確認

2003.3. 白浜群で交雑を確認（遺伝子分析）

2004.2. 市原市（ニホンザル生息地）で交雑個体を捕獲

2 ニホンザルとマカク他種の交雑事例

資料 別紙 1 を参照

3 霊長類の輸入状況

資料 別紙 2 を参照

注意 別紙の輸入統計には種名がないが、近年の輸入の大部分はマカク類と考えられる。
種名でいえば、実験利用されることが多いカニクイザル、アカゲザル。

4 注意点

（1）種の誤認

以前に起きた誤認の例：アカゲザルとアッサムモンキー
系統的には近縁でなくても外見で区別しにくい種がいる。

（2）若齢個体の種判別

成体では種判別が容易でも愛玩に利用されやすい若齢個体では種の判定が難しくなることがある。特に、近縁種ではその危険が高い（例えば、トクモンキーとボンネットモンキー、チベットモンキーとベニガオザル）。

（3）亜種や地域によるちがい

同種でも形態に地域変異があり、アカゲザル、ブタオザルなど実験利用されるマカクでは形態だけでなく検査にたいする感受性のちがいもある。したがって、種判別の際にはこうした変異の幅を理解しておくことも重要。

補足 ニホンザルに関する情報

1 国内の交雑状況

地域：和歌山県大池遊園（和歌山市・海南市・貴志川町）

【参考資料】

川本芳, 白井啓, 荒木伸一, 前野恭子 (1999) 和歌山県におけるニホンザルとタイワンザルの混血の事例. 霊長類研究 15: 53-60.

川本芳, 大沢秀行, 和秀雄, 丸橋珠樹, 前川慎吾, 白井啓, 荒木伸一 (2001) 和歌山県におけるニホンザルとタイワンザルの交雑に関する遺伝学的分析. 霊長類研究 17: 13-24.

和歌山タイワンザルワーキンググループ (2002) 和歌山県に生息するタイワンザル個体群の生息実態調査. 2001 年度 WWF・日興グリーンインベスターズ基金助成事業報告書, pp. 1-56.

地域：青森県下北半島（下北郡野辺地町）

【参考資料】

松岡史朗 (2004) 「北限のサル」との交雑回避 ―下北・タイワンザル問題の経緯と顛末―. 下北半島のサル 2003 年度（平成 15 年度）調査報告書, 下北半島のサル調査会, pp. 77-84.

松林清明 (2004) 青森県・野辺地タイワンザルの処置の経緯. 霊長類研究 20: (印刷中).

地域：千葉県房総半島（館山市・白浜町・市原市）

【参考資料】

萩原光, 相澤敬吾, 蒲谷肇, 川本芳 (2003) 房総半島の移入種を含むマカカ属個体群の生息状況と遺伝的特性. 霊長類研究 19: 229-241.

川本芳, 萩原光, 相澤敬吾 (2004) 房総半島におけるニホンザルとアカゲザルの交雑. 霊長類研究 20: (印刷中).

2 国内の野生化移入種（交雑地以外）

地域：東京都伊豆大島（大島町）

【参考資料】

川本芳, 川本咲江, 佐伯真美, 乗越皓司 (2003) 伊豆大島に生息するマカク外来種に関する遺伝学的調査. 霊長類研究 19: 137-144.

佐伯真美 (2004) 伊豆大島における外来種タイワンザル (*Macaca cyclopis*) の生態学および遺伝学的研究. 上智大学理工学研究科修士論文, pp. 1-80.

地域：静岡県大根島（南伊豆町）

【参考資料】

川本芳 (2003) ニホンザルをめぐる移入種問題. エコソフィア 12: 82-89.

別紙1

ニホンザルと他の*Macaca*属との交雑に関するデータ（報告事例）

	和 名	学 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1	ニホンザル	<i>M. fuscata</i>		香,千		和,青															
2	アカゲザル	<i>M. mulatta</i>			香				香												
3	カニクイザル	<i>M. fascicularis</i>		H,B																	
4	タイワンザル	<i>M. cyclopis</i>	H																		
5	トクモンキー	<i>M. sinica</i>																			
6	ボンネットモンキー	<i>M. radiata</i>		C	H		H														
7	チベットモンキー	<i>M. thibetana</i>																			
8	アッサムモンキー	<i>M. assamensis</i>																			
9	ベニガオザル	<i>M. arctoides</i>		H						H											
10	シシオザル	<i>M. silenus</i>	H		H																
11	ブタオザル	<i>M. nemestrina</i>		H, B	H, B					B		H, B									
12	ムーアモンキー	<i>M. maurus</i>			B								H		S						
13	トンケアンモンキー	<i>M. tonkeana</i>											B	B		G					
14	ヘックモンキー	<i>M. hecki</i>																			
15	ゴロンタロモンキー	<i>M. nigrescens</i>																G			
16	クロザル	<i>M. nigra</i>										B	B	B	B	Y					
17	ブーツモンキー	<i>M. ochreata</i>														Y					
18	ブトンモンキー	<i>M. brunnescens</i>																			
19	バーバリーモンキー	<i>M. sylvanus</i>																			

非飼育下・自然生息地での交雑事例

飼育下での交雑事例

[飼育下での交雑]

H=Hill, O (1974)

C=Chiarelli, AB (1973)

B=Bernstein IS et al. (1980)

Y=Gray AP (1972)

[非飼育下、自然生息地での交雑]

香=香港 (Burton & Chan, 1996)

千=千葉 (川本ら, 2004)

和=和歌山 (川本ら, 1999, 2001)

青=青森 (川本ら, 未発表)

S=Supriatna, J (1992)

G=Groves, C (1980)

別紙2

霊長類の輸入統計

財務省貿易統計

	平成13年	平成14年	平成15年
中華人民共和国	4,059	3,571	874
ベトナム	1,185	914	1,488
フィリピン	443	401	462
インドネシア	568	100	760
ガイアナ	682	185	
マダガスカル	4		
計	6,941	5,171	3,584

農林水産省動物検疫年報 感染症法に基づくサルの輸入検疫実績

	平成12年	平成13年	平成14年
中国	2940	4,047	3,842
ベトナム	773	1,132	913
フィリピン	352	443	401
インドネシア	163	569	101
アメリカ	1	0	0
ガイアナ	111	655	185
スリナム	163	0	0
マダガスカル	0	4	0
合計	4,503	6,850	5,442